

(翁長知事 2 回目のワシントン DC 訪問)

平成 28 年 5 月 14 日から 18 日までの間、翁長雄志知事が 2 回目のワシントン DC 訪問を行い、ワシントンを代表する 8 名の専門家を招いて有識者会議の開催、そして米連邦議会上下両院の歳出、軍事、外交委員会の議員 12 名と面談、普天間飛行場移設問題を含む沖縄の米軍基地を巡る沖縄の状況と知事の考えを説明し、諸問題の解決促進に向けて理解と協力を求めました。

特に、モンデール元副大統領と面談し、普天間飛行場の全面返還が合意された当時の状況を伺うことができたことは、大変意義のあることでした。

また、「第 6 回世界のウチナーンチュ大会」の大会成功に向けての積極的な参加及び協力の呼びかけ等を行いました。



「第 6 回世界のウチナーンチュ大会」の大会成功に向けて、ワシントン DC 沖縄会への説明会

ワシントン DC 有識者会議

(有識者メンバー)

- ①マイク望月教授 (ジョージ・ワシントン大学)
- ②マイケル・オハンロン上級研究員 (ブルッキングス研究所)
- ③ケント・カルダー教授 (エドウィン・ライシャワー東アジア研究センター長)
- ④ラスト・デミング元大使 (ジョンズ・ホプキンス大学大学院)
- ⑤ウィリアム・ブルックス教授 (ジョンズ・ホプキンス大学大学院)
- ⑥トーマス・ライク元在沖米国総領事
- ⑦アル・オニール元在沖米国総領事
- ⑧ニコラス・セチェイニ副部長 (CSIS 日本部)

ワシントンを代表する安全保障、日米関係の専門家にお集まりいただき、大変有意義な会議となりました。

翁長知事からは、日本政府との和解、係争処理委員会での陳述、そして辺野古新基地に反対する県民世論、それを踏まえた建設阻止に向けた知事の考えを説明させていただきました。

会議では、辺野古移設が困難であることの認識や唯一の解決策ということへの疑問、そして辺野古以外の代替案につながる発言等もありました。



有識者会議：沖縄県側



有識者会議：左からオハンロン上級研究員、望月教授



有識者会議：左からデミング大使、カルダー教授、ブルックス教授



有識者会議：左からセチェイニ CSIS 副部長、ライク元総領事、オニール元総領事

#### 連邦議員との面談

上院 3 名、下院 9 名 計 12 名の連邦議員（うち 1 人は補佐官対応）と面談いたしました。

翁長知事からは、日本政府との和解、係争処理委員会での陳述、そして辺野古新基地に反対する県民世論、それを踏まえた建設阻止に向けた知事の考えを説明させていただきました。

面談時の画像、各議員からの発言等は以下のとおりです。



トム・コール下院歳出委員会・国防小委員会議員（オクラホマ州選出、共和党）

- ・ 連携して、沖縄にとってよりよい解決策を見出すお手伝いができると思います。
- ・ 1960 年代のフランスや 1990 年代のフィリピンがそうであったように、日本政府が要請すれば変更の可能性がある。
- ・ 私の立場でできることは、（日本政府が解決策を出して来れば）、それを尊重するように私の政府に対して働きかけることだが、沖縄にとって平等な解決策が出てくることを期待したい。





トム・エマー下院議員ジャパン・コーカスメンバー（ミネソタ州選出、共和党）

- ・ 知事のおっしゃったことの背景を調べてみたい。
- ・ この問題が沖縄の人にとって重要であるということを理解した。
- ・ 工事の状況を見守りたい。
- ・ 環境の問題もあることを認識した。



ベティ・マッカラム下院歳出委員会・国防小委員会議員（ミネソタ州選出、民主党）

（会談内容の公表は控えるということでお会いしましたが、非常によい雰囲気での面談でした。）



メイジー・ヒロノ上院軍事委員会議員（ハワイ州選出、民主党）

（会談内容の公表は控えるということでお会いしましたが、非常によい雰囲気での面談でした。）



タッド・コ克蘭上院歳出委員長（ミシシッピ州選出、共和党）

- ・ コ克蘭議員から「米政府が知事や沖縄の声を聴くために、特使を送り解決策を話し合うようなことをしているか」という質問がありました。
- ・ 知事からは「日米両政府は辺野古が唯一とくりかえすのみです。米国から沖縄の声を直接聞く取り組みがあれば、ありがたい。」とお話ししました。



ロブ・ウィットマン下院軍事委員会・即応力小委員長（バージニア州選出、共和党）

- ・ グアム移転と嘉手納以南の土地の返還については、実行されるとの認識を持っている。
- ・ 辺野古については、沖縄県と日本政府の動向を注視したい。



マデリーン・ボルダーロ下院軍事委員会議員（グアム選出、民主党）

- ・ 予定にはなかったものの、挨拶をする時間をいただきました。





アラン・ローウェンタール下院外交委員会・アジア太平洋地域小委員会議員

(カリフォルニア州選出、民主党)

(会談内容の公表は控えるということでお会いしましたが、非常によい雰囲気での面談でした。)



オースティン・スコット下院軍事委員会・即応力小委員会議員 (ジョージア州選出、共和党)

- ・ 新たな基地へ反対していることは分かった。どこへもっていけばいいのか。もっと小さければいいのか。との質問がありました。
- ・ 日米の2国間関係は重要なので、人々の意見は尊重したいとの話がありました。

マット・サーモン下院外交委員会・アジア太平洋地域小委員会委員長 (アリゾナ州選出、共和党)

- ・ 議員本人は採決対応のため、急遽補佐官が対応することになりました。

スティーブ・イスラエル下院歳出委員会・国防小委員会議員（ニューヨーク州選出、民主党）

- ・ 基地の将来についての日米間の協議から疎外されているのかとの質問をいただいたところで時間切れとなりました。



シェリー・ムーア・キャピト上院歳出委員会・軍事施設小委員会議員

（ウェストバージニア州選出、共和党）

- ・ 知事からお話しを聞いたので助けになった。
- ・ 多くの人たちに知事のジレンマ等を話していくことは、この事を理解する助けになると思う。



沖縄県ワシントン DC 事務所で記者会見





#### モンデール元副大統領との面談

- ・ ミネアポリスにて元副大統領と面談を行いました。
- ・ 知事からは、1996年のモンデール駐日大使と橋本首相の会談で普天間飛行場の返還が合意された功績について賛意を表したうえで、その後、紆余曲折して今日まで解決が見えていないこの問題の推移と、現在の沖縄の現状について説明いたしました。
- ・ モンデール元副大統領は暖かく出迎えていただくとともに、面談時間も予定を大幅に超過して時間を取って頂き、真摯に対応していただきました。

(以上)